

まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース TOWN NEWS



6/29 札内北小学校 地域をつなぐ恒例行事

地域交流などを目的にした恒例行事「北小まつり」が開かれ、児童やPTAによる出店などを楽しもうと、多くの家族が訪れました。

全校児童がクラスごとに出店を企画し、小劇場やお化け屋敷、ゲームセンターなどを設けて地域住民と交流しました。中でも、お化け屋敷には長蛇の列ができており、にぎわいをみせていました。今年は幕別幼稚園の園児53人が初めて参加し、釣りゲームやすごろくなどで夢中になって楽しみました。同校の田中爽詩君(1年)

は「お化け屋敷は怖かったけど一番楽しかったです。出店の焼きそばも最高だった」と大満足。北小まつりで

手にした全道への切符！

7/5 教育委員会会議室

7月27日から苫小牧市で開催される、第24回ミニバスケットボール北海道ブロック大会に出場する札南ラビッツが教育委員会を訪れ、大会へ向けて決意を語りました。

主将の佐々木麻梨愛さんは「十勝の代表として恥じないよう頑張りたい」と誓っていました。



家族連れでにぎやかに

6/14 ひまわりの家広場

施設利用者と地域住民の交流を目的に毎年実施している「第17回ひまわりまつり」が開催され、家族連れや多くの来場者でにぎわいました。余興では、札内東中学校吹奏楽部による演奏やひまわりの家の利用者による手話合唱などが披露されました。

農業の担い手として

6/22 忠類農業協同組合

平成24年度の新規就農者激励会が忠類農協で開催されました。今年度の新規就農者は6人で、始めに多田忠類農協組合長や来賓から激励の言葉をいただきました。その後、新規就農者を代表して大石幸男さんが今後の抱負を述べ、酪農に取り組む決意を新たにしました。



にぎわいみせる会場

6/29 忠類元駅舎前

今年で6回目を迎えた「忠類チョーマナイかいフェスティバル」が忠類元駅舎前で開催されました。絶好の天候に恵まれたこの日は、夕方の開店から多くの方が訪れ、にぎわいをみせていました。宝探しや抽選会など、訪れた方々は飲み物を片手に夏の夜を楽しみました。

丘の上から見る風景

7/1 シーニックカフェ

今年も「シーニックカフェちゅうるい」が7月1日にオープンしました。訪れたお客さんは、コーヒーや牛乳を飲みながら、忠類の景観を満喫していました。9月30日までの毎週土・日曜日（10時～15時）、忠類共栄牧場内東屋で開催されています。



地域交流でひと汗

7/10 忠類体育館

忠類シニアクラブ主催の忠類地域高齢者スポーツ大会が開催されました。当日は、忠類保育所の子どもたちも参加し、ボール運びやパン食い競争などの競技を楽しみました。選手たちは、子どもたちの元気いっぱいな姿や応援に自然と笑みがこぼれていました。